

LP Builder Pro

AI-Powered Landing Page Creation Tool

要件定義書

Product Requirements Document

Version 1.0

作成日: 2025年12月12日

目次

1. エグゼクティブサマリー

2. プロダクト概要

3. 機能要件

4. 非機能要件

5. UI/UX設計方針

6. 講座・ボーナスコンテンツ

7. 開発ロードマップ[°]

8. リスクと対策

9. 成功指標 (KPI)

10. 付録

1. エグゼクティブサマリー

1.1 プロダクトビジョン

LP Builder Proは、Webデザイナー・マーケター・ディレクターのクライアントワークを革新的に効率化するAI搭載LP制作ツールです。

「マジックペンで"ここ"を指すだけ。言語化の壁を超えて、思った通りのLPを高速で作る」

従来のAIツールでは実現できなかった直感的な修正指示を可能にし、クライアントワークの生産性を劇的に向上させます。

1.2 解決する課題

課題	詳細
低単価案件への疲弊	信頼構築のため断れない案件が、高単価案件のリソースを圧迫
言語化の壁	「ここを直して」をAIに伝えるのが難しく、時間がかかる
リサーチの非効率	スワイプファイル収集・整理に膨大な時間を消費
クライアントとの認識ズレ	修正の往復が多く、コミュニケーションコストが高い
レスポンシブ確認の煩雑さ	デバイス間の見え方確認に手間がかかる

1.3 市場ポジショニング

価格: 29,800円（買い切り）で「市場価格破壊」を実現

- 外注1回分以下の投資で、無制限にLPを制作可能
- Google Cloud \$300無料クレジットを活用し、初期90日間は実質無料
- 買い切りモデルのため、ランニングコストを気にせず使い倒せる

2. プロダクト概要

2.1 基本情報

項目	内容
プロダクト名	LP Builder Pro (仮称)
カテゴリ	AI LP制作ツール / クリエイティブ支援ツール
価格	29,800円 (税込・買い切り)
提供形態	ローカル環境動作 (Next.js + ローカルサーバー)
動作環境	Windows / macOS / Linux (Node.js 18以上)
推奨エディタ	Cursor (プロジェクト管理・追加カスタマイズ用)
必要API	Google Cloud API (Gemini 3 Pro Image Preview)

2.2 ターゲットユーザー

プライマリーターゲット

- Webデザイナー (実務者・フリーランス)
- Webマーケター (LINEマーケ界隈・DRM界隈)
- ディレクターポジションのクライアントワーカー
- ワンマンで複数案件を回している事業者

セカンダリーターゲット

- 一人起業家 (LP外注費を削減したい層)
- スタートアップのマーケティング担当
- Web制作会社の効率化を図りたい経営者

2.3 競合分析

ツール	特徴	弱点	LP Builder Proの優位性
STUDIO / Wix	ノーコードでデザイン自由	学習コスト高い	AI自動生成で即座に完成
ペライチ	簡単、低価格	テンプレ感が強い	スワイプファイルで独自性担保
Canva	手軽、テンプレ豊富	LP特化ではない	LP制作に最適化されたワークフロー
ChatGPT / Claude	柔軟、高性能	「ここ直して」の指示が困難	マジックペンで視覚的に指示可能
Cursor / v0	開発者向け、自由度高い	非エンジニアにはハードル高	デザイナー向けUI + Cursor連携

2.4 差別化ポイント

- マジックペン機能: 視覚的に「ここ」を指定して修正指示。言語化の壁を完全に解消。
- LP丸ごとスクレイピング: URLを入力するだけで、テキスト・画像・構成を一括取得。
- カラースポイト: 参考画像やLPから色を直接取得し、カラーパレットに追加。
- ABCD同時比較: 4パターンを並べて比較検討。意思決定を高速化。
- Cursor連携最適化: プロジェクト構成がCursorで開きやすい設計。
- 買い切り + GCP無料クレジット: 29,800円で無制限利用。初期90日は実質無料。

3. 機能要件

3.1 MVP機能一覧

#	機能名	概要	優先度
1	セクション単位制作	LPをセクションごとに分割して制作。連結プレビューで全体確認可能。	必須
2	マジックペン	ペンで領域を囲んで修正指示。座標ベースでAIに伝達。最大の差別化機能。	必須
3	スワイプファイル管理	画像・LPスクショをアップロードし、コンテキストとして活用。	必須
4	LP丸ごとスクレイピング	URLを入力 → テキスト + 画像 + 構成を一括取得。	必須
5	スタイル自動抽出	参考LPからカラー・フォント・レイアウトを自動分析。	必須
6	カラースポイト	EyeDropper API + Canvas APIで画像から色を取得。	必須
7	ABCD同時比較	最大4パターンを並べて比較。不要なものを切り捨てて最終決定。	必須
8	レスポンシブプレビュー	PC / タブレット / スマホの見え方をワンクリック切り替え。	必須
9	書き出し機能	PNG (セクション単位) / PDF (全体) / HTML・CSS (実装用)	必須
10	デザイントークン設定	カラーパレット・フォント・余白ルールを設定し全体に適用。	必須
11	クイック修正プリセット	「CTA強調」「余白調整」などワンクリック修正。	必須
12	競合LP自動分析	URL → 構成分解 → セクション抽出。リサーチ自動化。	必須

3.2 Phase 2 機能一覧

#	機能名	概要	優先度
13	クライアントプレビューリンク	共有リンクを発行。クライアントもマジックペンでコメント可能。	高
14	リサーチ自動化スクレーバー	「〇〇業界のLP探して」→ AIが自動収集・提案。神機能。	高
15	バージョン履歴	セクションごとに履歴管理。「この状態に戻す」が可能。	中
16	Figma形式書き出し	デザイナーへの引き継ぎ用。.fig or SVG形式で出力。	中
17	音声指示モード	マジックペン + 音声で修正指示。Whisper API使用。	低
18	AIレビュー & 改善提案	プロ視点でLPをレビュー。改善箇所をハイライト表示。	低

3.3 各機能の詳細仕様

3.3.1 マジックペン機能 ☆ 最重要

本プロダクト最大の差別化ポイント。視覚的に「ここ」を指定して修正指示を出せる機能。

座標ベース（バウンディングボックス方式）を採用

- セグメンテーション方式より実装難易度が低く、動作が確実
- API消費も少なく、コスパが良い
- Geminiとの相性が良い（座標指定プロンプトが得意）

処理フロー

- ユーザーがマジックペンで領域を囲む（フリー手帳 or 矩形）
- 囲んだ領域の座標（x, y, width, height）を取得
- 元画像全体 + 座標情報 + 修正指示テキストをGeminiに送信
- Geminiが画像全体を再生成（指定領域が修正された状態）
- 差分をハイライト表示（オプション）

プロンプト例

この画像の座標(x:100, y:200, w:300, h:150)の領域について、
ユーザーから以下の修正指示があります：『もっと目立たせて』。
この領域を改善した画像全体を生成してください。

UI要件

- ペンツール（フリー手帳描画）
- 矩形選択ツール（範囲指定）
- 消しゴムツール（選択解除）
- テキスト入力欄（修正指示）
- クイック修正プリセットボタン

3.3.2 LP丸ごとスクレイピング機能

URLを入力するだけで、LPの全要素を一括取得する機能。リサーチ工程を大幅に効率化。

取得データ

- フルページスクリーンショット（1枚の長い画像）
- セクションごとに分割された画像

- テキストコンテンツ (OCR抽出)
- カラーパレット (使用色を自動抽出)
- フォント情報 (可能な範囲で)
- レイアウト構成 (ヒーロー → 課題 → 解決策 → CTAなど)

技術実装

技術	用途
Playwright	ヘッドレスブラウザでページレンダリング
GoFullPage方式	自動スクロール + 画像結合
Gemini 2.5 Flash	テキスト抽出 (OCR) + 構成分析
Canvas API	画像からカラーパレット抽出

3.3.3 カラースポイト機能

技術	用途
EyeDropper API	Chrome標準APIでブラウザ上の任意の色を取得
Canvas API	アップロード画像のピクセル色を取得
色変換	HEX / RGB / HSL変換対応

3.3.4 ABCD同時比較機能

- 1つのセクションに対して最大4パターン (A/B/C/D) を同時生成
- グリッドビューで並べて比較
- 各パターンに対して個別にマジックペン修正可能
- 不要なパターンをワンクリックで削除

3.3.5 レスポンシブレビュー

デバイス	サイズ
Desktop	1920px / 1440px / 1280px
Tablet	1024px / 768px
Mobile	430px / 390px / 375px

3.3.6 書き出し機能

形式	用途	技術
PNG	セクション単位の確認用	html2canvas
PDF	提案書、印刷用	jsPDF
HTML/CSS	実装引き継ぎ	HTMLテンプレート
Figma (Phase 2)	デザイナー連携	.fig / SVG

3.3.7 競合LP自動分析

- セクション構成 (ヒーロー → 課題 → 解決策 → 実績 → CTA など)
- 各セクションの役割・訴求ポイント
- 使用されているデザインパターン
- カラースキーム・フォント使用傾向

3.3.8 クイック修正プリセット

プリセット名	動作
もっと目立たせる	コントラスト強調、サイズアップ
CTA強調	ボタンを大きく、色を目立たせる
余白を広げる	上下左右の余白を増やす
余白を詰める	余白を減らしてコンパクトに
フォントサイズ上げる	テキストを大きく
シンプルにする	装飾を減らしてクリーンに

4. 非機能要件

4.1 技術スタック

フロントエンド

技術	バージョン	用途
Next.js	14.x (App Router)	フレームワーク
React	18.x	UIライブラリ
Tailwind CSS	3.x	スタイルシート
shadcn/ui	latest	UIコンポーネント
Zustand	4.x	状態管理
Fabric.js	5.x	Canvas操作 (マジックペン)
React DnD	16.x	ドラッグ&ドロップ

バックエンド

技術	用途
Next.js API Routes	APIエンドポイント
SQLite + better-sqlite3	ローカルDB
ファイルシステム	画像・スワイプファイル保存

AI連携

モデル	用途
Gemini 3 Pro Image Preview	画像生成・編集 (メイン)。2K/4K出力、テキストレンダリング最強。
Gemini 2.5 Flash	OCR、高速テキスト処理、構成分析。
Gemini 3 Pro	複雑な推論、構成提案 (オプション)。

スクレイピング・画像処理

技術	用途
Playwright	ヘッドレスブラウザ、フルページキャプチャ
html2canvas / dom-to-image	DOM→画像変換
jsPDF	PDF生成
sharp	画像処理・リサイズ

4.2 パフォーマンス要件

項目	目標値	備考
アプリ起動時間	5秒以内	ローカル環境
セクション生成時間	10~30秒	AI生成依存
マジックペン修正適用	5~15秒	領域サイズ依存
LP丸ごとスクレイピング	30~60秒	ページ長さ依存
PNG書き出し	3秒以内	セクション単位
PDF書き出し	10秒以内	全体書き出し
レスポンシブ切り替え	1秒以内	即时反映

4.3 セキュリティ要件

- APIキーはローカルに保存（.envファイル）、外部送信しない
- 生成データはすべてローカル保存
- クラウドへのアップロードはユーザーの明示的な操作が必要
- スクレイピング時はrobots.txtを尊重（オプション設定）

4.4 動作環境

項目	要件
OS	Windows 10/11、macOS 12以上、Ubuntu 20.04以上
Node.js	18.x以上 (20.x推奨)
メモリ	8GB以上 (16GB推奨)
ストレージ	10GB以上の空き容量
ブラウザ	Chrome 120以上 (EyeDropper API対応)
推奨エディタ	Cursor

5. UI/UX設計方針

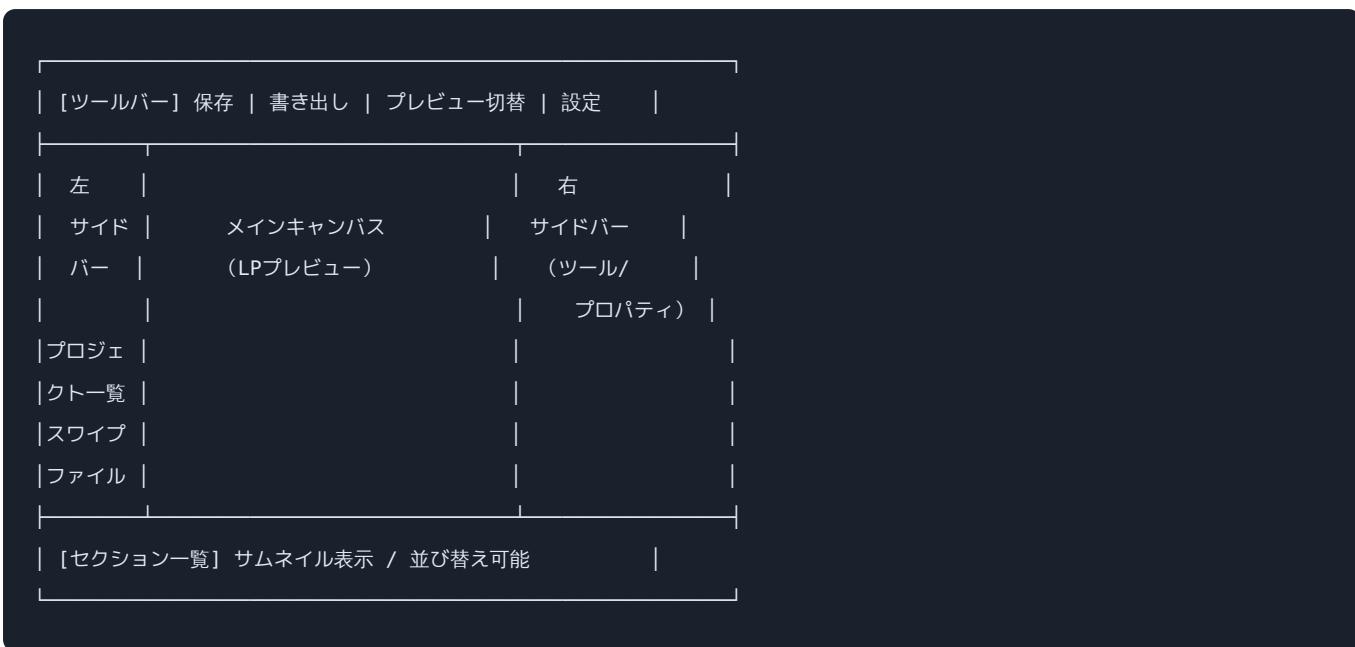
5.1 設計思想

「強いデザイナーを邪魔しない」を最優先に設計

設計原則

- 機能は豊富に、UIはシンプルに
- よく使う機能は1クリックで、高度な機能は必要なときだけ表示
- AIの提案は「押し付け」ではなく「オプション」として提示
- ショートカットキーを充実させ、パワーユーザーの効率を最大化

5.2 画面構成



主要画面一覧

- ダッシュボード: プロジェクト一覧、最近のファイル
- エディター: LP制作メイン画面
- スワイプファイル管理: 参考資料の整理・検索
- スクレイピング: URL入力 → LP取得
- 比較モード: ABCD並列表示
- 書き出し設定: 形式選択、オプション設定

7. 設定: APIキー、環境設定

5.3 ワークフロー

1. プロジェクト作成: クライアント名・案件名を入力
2. 参考資料収集: スワイプファイルアップロード or URLスクレイピング
3. スタイル設定: カラーパレット・フォントを設定
4. セクション制作: 1セクションずつ生成、マジックペンで調整
5. 比較・選定: ABCDパターンを比較し、最終案を決定
6. レスポンシブ確認: PC/タブレット/スマホで確認・調整
7. 書き出し: PNG/PDF/HTML形式で出力

5.4 ショートカットキー

キー	機能
P	ペンツール (マジックペン)
V	選択ツール
R	矩形選択
Ctrl/Cmd + S	保存
Ctrl/Cmd + Z	元に戻す
Ctrl/Cmd + E	書き出し
1 / 2 / 3	デバイス切り替え (PC/タブレット/スマホ)
Enter	修正適用

6. 講座・ボーナスコンテンツ

6.1 オンライン講座 (本体付属)

モジュール	内容
セットアップガイド	Node.js、環境構築、APIキー取得
基本操作	画面説明、基本ワークフロー
マジックペン活用術	効果的な指示の出し方
スワイプファイル管理	効率的なリサーチ方法
ABCD比較の活用	クライアント提案への応用
書き出し & 納品	各形式の使い分け

6.2 ボーナスコンテンツ

AIエージェント活用講座

- Cursor入門: インストールから基本操作
- Claude Code活用: LP Builderとの連携
- プロンプトエンジニアリング基礎
- AI時代のワークフロー設計

テクニック集

- Microsoft Clarity導入・分析ガイド
- Lステップ連携テクニック
- 宴システム連携テクニック
- WordPress埋め込みガイド

ベストプラクティスチェックシート

セクション	チェック項目
ヒーロー	3秒で伝わるか？CTAは目立つか？
課題提起	ターゲットの痛みに刺さっているか？
解決策	ペネフィットが明確か？
実績・お客様の声	顔写真、具体的な数字があるか？
FAQ	よくある反論に答えているか？
CTA	行動を促す言葉になっているか？

7. 開発ロードマップ

7.1 フェーズ概要

フェーズ	期間	主要成果物
Phase 0	1週間	技術検証 (PoC)、Gemini API接続、マジックペンプロトタイプ
Phase 1	4~6週間	MVP開発 (12機能)、基本UI実装
Phase 2	2~4週間	追加機能 (6機能)、UIプラッシュアップ
Phase 3	2週間	講座制作、ボーナスコンテンツ
Launch	1週間	最終テスト、ドキュメント整備、リリース

7.2 Phase 0: 技術検証 (1週間)

- Gemini 3 Pro Image Preview APIの接続確認
- マジックペン (座標ベース修正) のプロトタイプ作成
- Playwrightによるフルページスクレイピングのテスト
- 基本的なUI骨格の構築

7.3 Phase 1: MVP開発 (4~6週間)

Week 1-2

- プロジェクト基盤構築 (Next.js、DB、ファイル管理)
- セクション単位制作機能
- マジックペン機能 (コア実装)

Week 3-4

- LP丸ごとスクレイピング
- スタイル自動抽出
- カラースポイト
- スワイプファイル管理

Week 5-6

- ABCD同時比較
- レスポンシブプレビュー

- 書き出し機能
- デザイントークン設定
- クイック修正プリセット
- 競合LP自動分析

7.4 Phase 2: 追加機能 (2~4週間)

- クライアントプレビューリンク
- リサーチ自動化スクレーバー
- バージョン履歴
- Figma形式書き出し
- 音声指示モード
- AIレビュー & 改善提案

7.5 Phase 3 & Launch

- 講座動画制作
- ボーナスコンテンツ作成
- 最終テスト (Windows / macOS / Linux)
- Discordコミュニティ準備
- 販売ページ・LP制作

8. リスクと対策

リスク	影響	対策
Gemini API仕様変更	機能停止、品質低下	抽象化レイヤーを設け、他モデルへの切り替えを容易に
API利用料高騰	ユーザーコスト増	GCP無料クレジット訴求、効率的なAPI呼び出し設計
画像生成品質のばらつき	ユーザー満足度低下	プロンプトテンプレート最適化、再生成機能
スクレイピング対策強化	LP取得機能の制限	複数手法を用意 (Playwright / Puppeteer)
ローカル環境構築の難易度	導入離脱	詳細なセットアップガイド、ワンクリック起動スクリプト
競合ツールの登場	市場シェア低下	マジックペン等の差別化機能を継続強化

9. 成功指標 (KPI)

9.1 販売目標

期間	販売数目標	売上目標
ローンチ1ヶ月	100本	298万円
3ヶ月	300本	894万円
6ヶ月	500本	1,490万円
1年	1,000本	2,980万円

9.2 ユーザー満足度

- NPS:** 50以上を目標
- レビュー平均:** 4.5/5.0 以上
- リピート購入率:** 30%以上

9.3 エンゲージメント

- Discordコミュニティ参加率:** 購入者の70%以上
- 月間アクティブユーザー:** 購入者の50%以上

- 講座完了率: 60%以上

10. 付録

10.1 用語集

用語	説明
マジックペン	視覚的に領域を指定して修正指示を出す本プロダクト独自の機能
スワイプファイル	参考にするLP・デザインの画像やスクリーンショットのコレクション
Gemini 3 Pro Image Preview	Google提供の最新画像生成モデル（通称: Nano Banana Pro）
デザイントークン	カラー、フォント、余白などのデザインルールを定義した設定値
EyeDropper API	ブラウザ標準のカラーピッカーAPI（Chrome 95以上）
Playwright	Microsoft製のヘッドレスブラウザ自動化ライブラリ
Cursor	AI搭載のコードエディタ。本プロダクトの推奨開発環境

10.2 参考リンク

- Google AI Studio: <https://aistudio.google.com/>
- Google Cloud Console: <https://console.cloud.google.com/>
- Cursor: <https://cursor.com/>
- Next.js: <https://nextjs.org/>
- Tailwind CSS: <https://tailwindcss.com/>
- shadcn/ui: <https://ui.shadcn.com/>
- Playwright: <https://playwright.dev/>
- Fabric.js: <http://fabricjs.com/>

更新履歴

Ver	日付	更新内容
1.0	2025/12/12	初版作成

